

第26回蒲郡市地域公共交通会議 議事録

- | | | | |
|---|-----|-----------------------------|-----------|
| 1 | 日時 | 令和元年12月10日(火) 午後2時30分～4時20分 | |
| 2 | 場所 | 蒲郡市役所 本館 303会議室 | |
| 3 | 出席者 | 委員 愛知工科大学機械システム工学科教授 | 村上新 |
| | | 委員 名城大学理工学部社会基盤デザイン工学科教授 | 松本幸正 |
| | | 委員 愛知運輸支局 | 小川賢二 |
| | | 委員 愛知県交通対策課 | 渡邊重之 |
| | | | (代理 児玉朋孝) |
| | | 委員 総代連合会会長 | 細井政雄 |
| | | 委員 形原地区公共交通協議会 | 天野忠則 |
| | | 委員 東部地区公共交通協議会 | 遠山憲章 |
| | | 委員 西部地区公共交通協議会 | 尾崎恭啓 |
| | | 委員 蒲郡市身体障害者福祉協会 | 金沢孝一 |
| | | 委員 蒲郡市老人クラブ連合会 | 水藤シズカ |
| | | 委員 蒲郡市社会福祉協議会 | 鵜飼秀好 |
| | | 委員 蒲郡市小中学校PTA連絡協議会 | 加藤英美 |
| | | 委員 蒲郡商工会議所 | 小池高弘 |
| | | | (代理 井澤康彦) |
| | | 委員 蒲郡市観光協会 | 杉山和弘 |
| | | 委員 名鉄バス株式会社 | 吉岡実 |
| | | 委員 豊鉄タクシー株式会社 | 浅野丈夫 |
| | | 委員 株式会社かね一自動車 | 天野一美 |
| | | 委員 名古屋鉄道株式会社 | 河合貴夫 (欠席) |
| | | 委員 公益社団法人愛知県バス協会 | 小林裕之 (欠席) |
| | | 委員 愛知県タクシー協会 | 深谷克巳 |
| | | 委員 愛知県交通運輸産業労働組合協議会 | 白井淳 |
| | | 委員 愛知県蒲郡警察署 | 竹内敬悟 |
| | | | (代理 塩原広久) |
| | | 委員 東三河建設事務所 | 稲垣秀高 (欠席) |
| | | 委員 蒲郡市長 | 鈴木寿明 |
| | | 委員 蒲郡市総務部長 | 平野敦義 |
| | | 委員 蒲郡市企画部長 | 飯島伸幸 |
| | | 委員 蒲郡市市民福祉部長 | 竹内仁人 |
| | | 委員 蒲郡市建設部長 | 鈴木伸尚 |
| | | 委員 蒲郡市産業環境部長 | 贄年宏 |
| | | 委員 蒲郡市都市開発部長 | 宮瀬光博 |
| | | 事務局 蒲郡市交通防犯課長 | 池田高啓 |

蒲郡市交通防犯主幹

松井英樹

蒲郡市交通防犯課主事

石川雄策

蒲郡市交通防犯課主事

井本博子

地域公共交通網形成計画推進事業受託事業者 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 1名

4 傍聴人 6人

5 議題

(1) あいさつ

6 報告事項

(1) 東部地区支線バス「とがみくるりんバス」の利用状況等について・・・【資料1】

(2) 蒲郡市内公共交通の利用状況について・・・【資料2-1~2-4】

(3) 夏休み小学生50円バスの実施結果について・・・【資料3】

7 協議事項

(1) 令和元年度蒲郡市地域公共交通会議予算の補正について・・・【資料4】

(2) 西部地区支線バス事業（案）について・・・【資料5】

(3) 令和2年度生活交通確保維持改善計画の変更について・・・【資料6】

(4) 地域公共交通確保維持改善事業補助金にかかる自己評価について・・・【資料7】

8 その他

9 議事内容

(1) 開会

- ・ 出席委員が27名であり、定足数に達しているため、蒲郡市地域公共交通会議設置要綱第7条第2項の規定により会議が成立すること、本日の会議が公開となっており傍聴人がいること及び地域公共交通網計画推進事業受託事業者として三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社に参加していただいていることが事務局より報告された。

(2) 議題

ア あいさつ

蒲郡市長、鈴木寿明より、本日は報告事項3件、協議事項4件を予定している。平成27年から運行している形原地区のあじさいくるりんバスは、順調に利用者が増加している。交通空白地改善に向け、市内各地で説明会を実施し、新たに東部地区でとがみくるりんバスが運行を開始した。西部地区でも1月からみかんの丘くるりんバスの運行が始まる。引き続き地域の方、事業者などと連携を図って事業推進をしていきたい。委員の皆様方には積極的なご意見をいただき、よりよい公共交通施策につなげていきたいとのあいさつがあった。

(3) 報告事項

- ・ 議長より本日の議事録署名人として2名の委員が指名された。

ア 東部地区支線バス「とがみくるりんバス」の利用状況等について

- ・ 事務局より資料1に基づいた報告と運行事業者である豊鉄タクシー株式会社より安全運行上問題箇所がないことや運行上の留意点等についての発言が行われた。

た。

(委員)

- ・ 2か月の利用状況について、11月の総数は210名だった。
- ・ 安全運行上問題箇所は特にない。
- ・ 留意して運行しているところは、東部小学校の南東交差点。大変道幅が狭い。小学校保育園の児童に注意して運転している。白山神社から南側は、信号のない交差点が多いので、飛び出し等に注意して運行。右回りの時は、東京製綱前からみや児童館前、三河三谷駅から白山神社に行く。同じ道路を通ることになるので、慣れによる間違いがないように注意したい。
- ・ 時間通りの運行はできている。
- ・ 利用者の声としては、毎日運行してほしいとの意見が寄せられている。

[質疑]

(委員)

- ・ 無事運行を開始できたことについてお礼を申し上げたい。形原に次いで、東部、次に西部と運行が続く。
- ・ 毎日運行したらどうかという意見について、同じ運転手が運転している。現状午前の利用が多く、午後がない。午前中だけ毎日運行することも考えてほしい。
- ・ 公民館・集会所が4箇所ある。公民館でのイベントを実施して、乗車機会をつくりたい。
- ・ 介護施設の利用がゼロ。施設入所者がバスを利用して外出機会を作るような利用促進を行いたい。
- ・ 乗車し、利用者の声を聞いた。図書館からおばあさんの利用があった。病院へ荷物を届ける利用。東部公民館から三谷駅経由で市役所に行く方、三谷駅から市民病院利用もあった。運転免許を返納された方も多い。数字に表れないバスの運行による効果を体感した。いろいろな利用が増えていくとよいと思う。

(委員)

- ・ 私も乗車し、1周回った。利用者のおばあさんとのコミュニティができた。話を聞くと、もう少しPRしてほしいということだった。
- ・ 施設、名所の案内があると良い。できれば地元の小学生に考えてもらいたい。子どもものガイドによって利用者が楽しめ、利用促進にもなると思う。
- ・ トイレにわざと行った。運転手の対応がよかった。トイレの表示もマップの中にあると良い。

(事務局)

- ・ 事業者様については、2か月間の安全運転ありがとうございます。今後ともお願いしたい。
- ・ 利用者の意見について、地区の皆さんと協議を予定しており、そこでも意見をいた

だきながら、対応を考えたい。すぐにできることを地区の方と相談して対応していきたい。

イ 蒲郡市内公共交通の利用状況について

- ・ 事務局より資料2-1から2-4に基づいて報告と出席委員の事業者より一言ずつ昨年度の利用状況や今後の利用促進についての展望等の発言が行われた。

(委員)

- ・ 利用者数は前年を下回る結果となった。
- ・ この地区、路線について、新たな需要を確保できないことが課題と感じている。ダイヤ改正の影響もあるので、周知徹底をしていきたい。
- ・ 免許返納について、バス事業者としても返納を進めるべきとして、得々パスを用意しているが、利用しやすい商品を用意、検討していきたい。移動を必要とする人への対応、バス路線の使いやすい環境づくりを進めたい。
- ・ 課題もあるので、さまざまな取り組みを行い、利用者を増やしていきたい。

(委員)

- ・ あじさいくるりんバスについて、11月の利用者数は、小学生1人、大人384人、計385人、1便当たり4.9人。昨年度より少し下回った。回数券販売は17件、230枚の利用がある。
- ・ 今年は、台風の影響、鉄道や路線バス等の計画運休の影響があったと思う。
- ・ 公民館での催事の開催、高齢者サークルでコミュニティバスの乗り方教室などを開けないかと考えている。車両、運転手を身近に感じていただけるように考えたい。
- ・ 11月まで延べ乗降者数6,608名。バス停別では、かんだ整形が1,148人。17.4%。次いでAコープ、1,140人、17.3%。ユトリーナ1,061人16.1%。この3箇所が突出して多い。6人に1人がこれらを使う。次いで形原温泉615人、形原公民館434人の順。5つで66.7%に集中している。
- ・ 高齢者のタクシーチケットについて、42,160件の利用がある内、件数で56.8%、金額で54.3%を豊鉄タクシーが対応している。
- ・ 住所別で見ると三谷町が突出して多い。上手に使われる地域であり、また移動の制約がある場所かと思う。

(委員)

- ・ 公共交通の利用は低迷している。
- ・ 高齢者割引タクシーについて利用は伸びている。行政2割、事業者1割の3割引きで利用できるもの。蒲郡市は高齢者が多い。高齢者の日常の移動の足として利用されている。交通事業者にとっては、こうした制度は生命線となっている。
- ・ 今後も高齢化が進むため、蒲郡市は、安心して暮らせるまちになるよう、我々も貢献していきたい。施策を継続していただきたい。

[質疑]

(委員)

- ・ 4・5月に10連休があった。かんだ整形外科が休みで利用が減った。6月のあじ

さいまつりについては、雨の影響で利用が減った。

- ・ 一方、乗りこぼしが今年度4回あった。Aコープ、ユトリーナ、形原温泉など。自分も利用したときに、乗りこぼしがあり、タクシー送迎されていた。
- ・ 寒くなり1便と最終便の利用が少なくなる。子どもの利用が少ないため、保育園児を対象に、ぬりえ大会とバスごっこで楽しんでもらった。ぬりえは公民館に展示する。
- ・ バスの運行について、乗車率を高めるために、免許証返納、交通弱者の対応としては成功したと思う。春は花見、秋は紅葉の時に、地元の人が楽しめるイベントを実施し、1日を有意義に過ごすようにしつつ、乗車率を高める取り組みをしていきたい。地元の人がもう1度形原を見つめなおすきっかけになればと考えている。

(議長)

- ・ 評価に関わる事項は、協議事項で再度議論するため、ここでは報告にとどめ、次の議事に移ります。

ウ 夏休み小学生50円バスの実施結果について

- ・ 事務局より資料3に基づいて報告が行われた。

[質疑]

(委員)

- ・ 蒲都市単独では増えたのか。

(事務局)

- ・ 市内のみでは名鉄バスが27人増、形原地区で6人増、計33名増。

(議長)

- ・ この事業は、近隣市町の協力で進められている。継続して実施をお願いしたい。

(4) 協議事項

ア 令和元年度蒲都市地域公共交通会議予算の補正について

- ・ 事務局より資料4に基づく説明が行われ、全会一致で承認された。

[質疑]

なし

イ 西部地区支線バス事業(案)について

- ・ 事務局より資料5に基づく説明が行われ、全会一致で承認された。

[質疑]

(委員)

- ・ 1月4日に出発式を行う。ここまでこられたのも皆様のおかげ。感謝いたします。
- ・ 出発式を開催し、アトラクションを予定しています。よい宣伝になるので、できるだけ大勢の方が集まるよう計画している。
- ・ 今月は地域の助成をいただき回数券を販売している。
- ・ 図書館で東部地区支線バスと乗り継ぎができる。東部地区からは、西部地区に乗り継ぎすれば、市役所に行ける。逆に西部地区は市民病院に行ける。

- ・ ベンチなどおけると良いとも聞いている。民地にベンチを設置していきたいと考えている。

- ・ 他地域の問題点を聞きながら、良いものにしていきたい。ありがとうございます。

(委員)

- ・ 形原から始まり、東部、西部、三谷と広がっている。

- ・ エコバス、免許返納推進の施策など、もう少し変わったことができないかと思う。エコバスは、サーラのバイオディーゼル燃料を使う。観光送迎バスは以前使っていた。環境面も考えていくべき。次のバスが走るときには、新たな取組ができると良い。

- ・ 東部と西部を乗り継ぎができる。半田市は乗り継ぎして200円。1日券400円。1日乗車券などの検討も行ってほしいと思う。

(事務局)

- ・ 進め方について、昨年から市内全地区に説明会をさせていただいた結果、今年度東部、西部地区の運行が始まることとなり、10月末に三谷地区の協議会が設置できた。4協議会になる。

- ・ 包括的に考える時期がいずれ来る。来年度は網形成計画の見直しを予定している。

- ・ エコバスについて、昨年度勉強させていただいた。サーラ、豊鉄タクシーなどと協議した。車両のメーカー保証が受けられないということから、見送った。実現できれば全国初の取り組みにもなる。引き続き検討していきたい。

- ・ 乗り換えについて、形原と東部の乗り換えはなかったが、西部・東部の乗り換えは生じる。この対応については運行後、利用者の声を聞きながら考えていきたい。

(委員)

- ・ 町部の空白地域もある。上手につなげてほしい。

- ・ 大学の学生を運ぶバスがある。大学バスの利用ができるだけでも、塩津地区には助かるだろう。愛知工科大学との連携も進めてほしい。

- ・ 1日乗車券について、蒲郡市はよいところ、観光的要素があるので、観光面での取り組みも考えてほしい。

(議長)

- ・ 大学については検討していきたい。

(委員)

- ・ 西部地区の出発式、楽しみにしている。

- ・ 赤日子神社について、行き帰りともに利用ができるのか。上手に運用してください。

- ・ ネットワークができてきた時に、蒲郡市全体で、どこにどの路線ができているのか、全体が俯瞰して見える、地域資源もわかるマップを是非検討してほしい。観光協会と一緒に、バスを売り込めるように取り組んでほしい。

- ・ 形原の桜、紅葉を見られるバスを楽しむ取組などはよいアイデア。東部西部は、まず乗り方を知ってもらおう。それぞれの取組ありがたい。

- ・ ノウハウを共有できる横の連携を進める場を位置づけて、下部組織として設置したらどうか。1日乗車券などの検討もよい。

- ・ GTF Sの売り出しも一緒に進めてほしい。若い人たちが調べてやってくれることも

考えられる。期待したい。

(委員)

- ・ 蒲郡市観光協会も出席している。以前観光バスの利活用をコンサルから提案された。草津の事例の紹介を受けた。是非、観光送迎バスの利用を考えてほしい。

(委員)

- ・ 地域の方と一緒に公共交通へ取り組むのはとてもよいことだと思う。
- ・ 観光協会としても、二次交通等、観光部門でも進めないといけないと感じる。人口が増えるきっかけにもなるので、市民の方、観光客を含め、面として、市とともに進めてまいりたい。

(委員)

- ・ 観光施設のバス活用について注意が必要な点がある。通常のバス事業は、緑ナンバーで許可を受けて安全運行されている。
- ・ 白ナンバーの活用については、安全面のリスクもあり、一定のルールをクリアする必要がある。事業者とのバランスも考えるべき。本格的に取り組む際には、早めに相談をしてほしい。

(委員)

- ・ 広域連携として旅の周遊プランを作成している。豊橋駅から蒲郡の竹島を周遊するプランを作成しているところ。多くの方に見てもらい、蒲郡の公共交通について知ってもらうきっかけになればと思う。

ウ 令和2年度生活交通確保維持改善計画の変更について

- ・ 事務局より資料6に基づく説明が行われ、全会一致で承認された。

[質疑]

なし

エ 地域公共交通確保維持改善事業補助金にかかる自己評価について

- ・ 事務局より資料7に基づく説明が行われ、指摘部分等について事務局にて修正を行い、修正内容については事務局および会長に一任するとして承認された。

[質疑]

(委員)

- ・ 別添1の評価はこれでよい。朝一番は便ごとの評価が義務付けられていることもありやむを得ない。よろしいと思う。
- ・ ⑤の一番下。目標未達はしょうがないが、改善点の記載は利用促進策の実施だけでよい。広告収入の拡大検討はつながらないのではないか。

(事務局)

- ・ 別添1について、広告の拡大検討として修正します。

(5) その他

(委員)

- ・ ちらしを配布させていただいた。路線バスで、運転手の判断で最後のバス停まで行かないという事案があった。行政処分の対象になってしまう。つい先日も、他自治体で事案が生じたので案内した。

- ・ 環境面、運転手の働き方、効率化の観点でも手続きを踏んでおけば、実施はできる。

(委員)

- ・ すばらしいご意見を頂戴した。3地区のコミュニティバスの運行について、みなさんの尽力で運行できたと改めて感じた。

- ・ 本日の会議を通して、公共交通は国・県の支援をうけながら実施していることがわかった。身が引き締まる思い。

- ・ 街中にも空白があるとの意見も伺った。市民の声を聞いて公共交通について、導いていきたい。網の目のように、ネットワークの形成を進めたい。

(事務局)

- ・ 東海ウォーカーmini、1月18日のウォーキングちらしを配布させていただいた。

- ・ 次回の地域公共交通会議は3月25日(水)10時予定との連絡を行い会議は終了した。

以上、議事の正確を証するため署名押印する。

蒲郡市地域公共交通会議委員

印

蒲郡市地域公共交通会議委員

印
